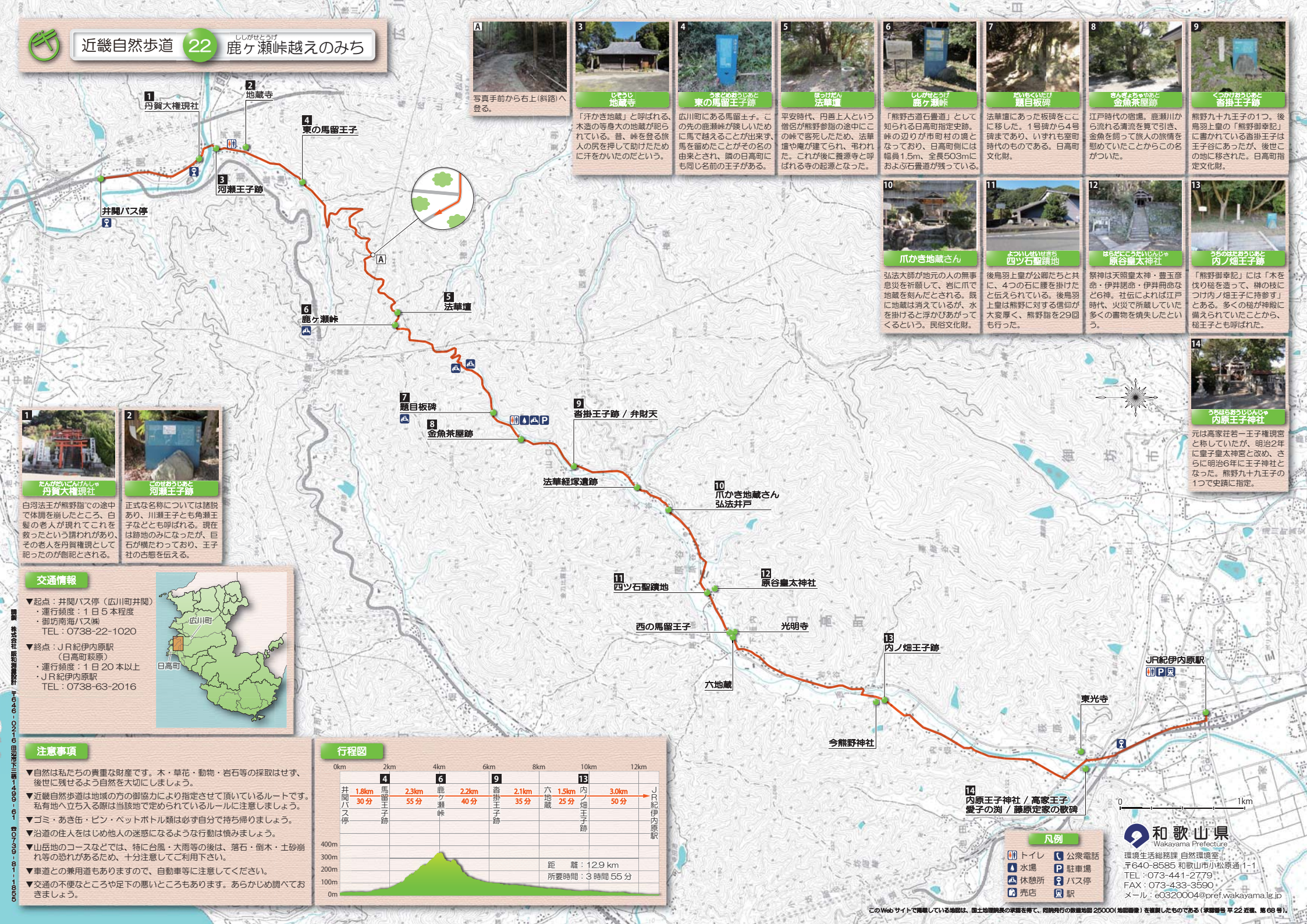
近畿自然歩道 22 鹿ヶ瀬峠越えのみち



A 写真手前から右上(斜路)へ登る。

3 じぞうじ 地蔵寺
「汗かき地蔵」と呼ばれる、木造の等身大の地蔵が祀られている。昔、峠を登る旅人の尻を押して助けたために汗をかいたのだという。

4 うまどめおうじあと 東の馬留王子跡
広川町にある馬留土チ。この先の鹿瀬峠が険しいために馬で越えることが出来ず、馬を留めたことがその名の由来とされ、隣の日高町にも同じ名前の王子がある。

5 ほっけだん 法華壇
平安時代、円善上人という僧侶が熊野参詣の途中にこの峠で客死したため、法華壇や庵が建てられ、弔われた。これが後に養源寺と呼ばれる寺の起源となった。

6 ししがせとうげ 鹿ヶ瀬峠
「熊野古道石畳道」として知られる日高町指定史跡。峠の辺りが市町村の境となっており、日高町側には幅員1.5m、全長503mにおよぶ石畳道が残っている。

7 だいもくいたび 題目板碑
法華壇にあった板碑をここに移した。1号碑から4号碑まであり、いずれも室町時代のものである。日高町文化財。

8 きんぎょちゃやあと 金魚茶屋跡
江戸時代の宿場。鹿瀬川から流れる清流を覗で引き、金魚を飼って旅人の旅情を慰めていたことからこの名がついた。

9 くつかけおうじあと 沓掛王子跡
熊野九十九王子の1つ。後鳥羽上皇の「熊野御幸記」に書かれている沓掛王子は王子谷にあったが、後世この地に移された。日高町指定文化財。

10 爪かき地蔵さん
弘法大師が地元の人の無事息災を祈願して、岩に爪で地蔵を刻んだとされる。既に地蔵は消えているが、水を掛けると浮かびあがってくるという。民俗文化財。

11 よついしせいせきち 四ツ石聖蹟地
後鳥羽上皇が公卿たちと共に、4つの石に腰を掛けたと伝えられている。後鳥羽上皇は熊野に対する信仰が大変厚く、熊野詣を29回も行った。

12 はらだにこうたいじんじゃ 原谷皇太神社
祭神は天照皇太神・豊玉彦命・伊井諾命・伊井冊命など6神。社伝によれば江戸時代、火災で所蔵していた多くの書物を焼失したという。

13 うちのはたおうじあと 内ノ畑王子跡
「熊野御幸記」には「木を伐り槌を造って、榊の枝につけ内ノ畑王子に持参す」とある。多くの槌が神殿に備えられていたことから、槌王子とも呼ばれた。

14 うちはらおうじじんじゃ 内原王子神社
元は高家荘若一王子権現宮と称していたが、明治2年に皇子皇太神宮と改め、さらに明治6年に王子神社となった。熊野九十九王子の1つで史蹟に指定。

1 たんがだいごんげんじゃ 丹賀大権現社
白河法王が熊野詣での途中で体調を崩したところ、白髪の老人が現れてこれを救ったという謂われがあり、その老人を丹賀権現として祀ったのが創祀とされる。

2 このせおうじあと 河瀬王子跡
正式な名称については諸説あり、川瀬王子とも角瀬王子などとも呼ばれる。現在は跡地のみになったが、巨石が横たわっており、王子社の古態を伝える。

交通情報

▼起点：井関バス停（広川町井関）
・運行頻度：1日5本程度
・御坊南海バス㈱
TEL：0738-22-1020

▼終点：JR紀伊内原駅
（日高町萩原）
・運行頻度：1日20本以上
・JR紀伊内原駅
TEL：0738-63-2016

注意事項

▼自然は私たちの貴重な財産です。木・草花・動物・岩石等の採取はせず、後世に残せるよう自然を大切にしましょう。
▼近畿自然歩道は地域の方の御協力により指定させて頂いているルートです。私有地へ立ち入る際は当該地で定められているルールに注意しましょう。
▼ゴミ・あき缶・ビン・ペットボトル類は必ず自分で持ち帰りましょう。
▼沿道の住人をはじめ他人の迷惑になるような行動は慎みましょう。
▼山岳地のコースなどでは、特に台風・大雨等の後は、落石・倒木・土砂崩れ等の恐れがあるため、十分注意してご利用下さい。
▼車道との兼用道もありますので、自動車等に注意してください。
▼交通の不便なところや足下の悪いところもあります。あらかじめ調べておきましょう。

行程図

凡例

トイレ　公衆電話
水場　駐車場
休憩所　バス停
売店　駅

和歌山県
Wakayama Prefecture
環境生活総務課 自然環境室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL：073-441-2779
FAX：073-433-3590
メール：e0320004@pref.wakayama.lg.jp

このWebサイトで掲載している地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである（承認番号 平22近畿、第68号）。

調査 株式会社 阪和測量設計 〒646-0216 田辺市下三栖1499-61 ☎0739-81-1955